

# 都市再生整備計画(第2回変更)

いわつきえきにしぐち  
岩槻駅西口地区

さいたま  
埼玉県 さいたま市

平成20年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	いわつきまきにしぐちちく 岩槻駅西口地区	面積	11.6 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

都市基盤施設の整備改善を行い、合わせて土地の利用増進を図り、商業の活性化と潤いのある住環境の形成を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・岩槻区は、江戸時代には日光御成街道の宿場町として、また人形のまちとして発展してきた。平成17年4月にさいたま市と合併し、貴重な文化資源を活かしつつ新たなまちの歴史を刻むことが期待されている。
- ・本地区は岩槻駅の西側に隣接しているながらも、駅西口の未開設や都市施設の未整備により駅前という立地を活かされないまま、商業の発展もなく活況のない地区となっている。本地区の北側に位置する国道122号の沿線は古くから商業地として利用されてきたが、その他は道路が未整備な為に未利用地が散在する形で現在に至っている。
- ・地区内の道路は、開発行為による幅員4~6mの道路が一部あるが、大部分は幅員3m未満の狭小道路となっている。

課題

- ・市街地の道路網整備の遅れから、国道や駅周辺で渋滞が発生している。身近な生活道路も狭い場所が多く、緊急車両の活動や歩行者・自転車の安全な利用に支障をきたしている。
- ・岩槻駅周辺では城下町としての歴史・文化資源や人形のまちのイメージを生かして賑わいと活力を再生、創出していく必要がある。
- ・駅西口において、生活道路や公園などインフラ整備の不足、用途混在、密集住宅などが課題となっている

将来ビジョン(中長期)

さいたま市総合振興計画(さいたま希望のまちプラン)  
 岩槻区の将来像「自然と歴史、文化を楽しむまち」の実現に向けて、①区民一人ひとりを尊重した、人にやさしく、ふれあいのあるまちづくり②健康で安心のまちづくり③自然・歴史・文化を生かした、活力あるまちづくり④生活環境の整った、安全で暮らしやすいまちづくり⑤区民主役のまちづくりを目指す。  
 さいたま市都市計画マスタープラン(さいたま2005まちプラン)  
 土地利用の方針である「岩槻駅周辺では歴史文化資源や人形のまち」のイメージを活用し、都市景観やユニバーサルデザインに配慮しながら個性的で魅力ある商業業務地を形成する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
防災活動困難地域の解消	%	街路総延長に対する整備済み延長の比	狭小道路の解消による、防災上安全な市街地の形成。	9.9	22
住環境の改善	%	公共下水道(汚水)の整備率	都市基盤施設を整備し快適な住環境の形成を図る。	12.0	25
				“	“

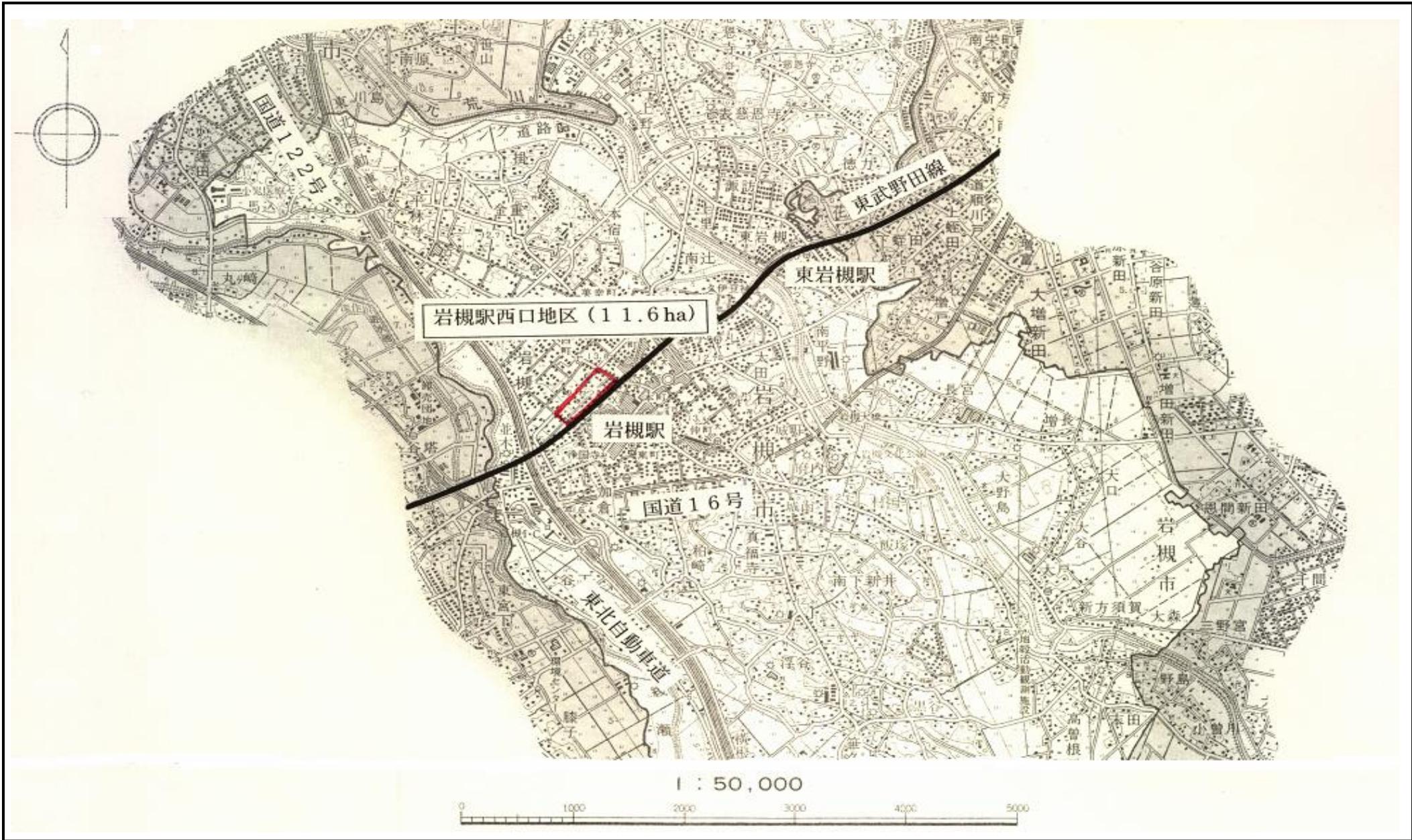
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤施設の整備改善を行い、合わせて土地の利用増進を図り、商業の活性化と潤いのある住環境及びまちなみの形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩槻駅西口土地区画整理事業</li> <li>・道路環境検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

岩槻駅西口地区(埼玉県 さいたま市)	面積 11.6 ha	区域 さいたま市岩槻区大字岩槻字西原一、大字加倉字谷ッ合、本町一丁目、西町一丁目 の各一部
--------------------	---------------	---



## 岩槻駅西口地区(埼玉県 さいたま市) 整備方針概要図

目標	都市基盤施設の整備改善を行い、合わせて土地の利用増進を図り、商業の活性化と潤いのある住環境の形成を図る。	代表的な指標	防災活動困難地域の解消 ( % )	9.9	(H16年度) →	22.0	(H20年度)
			住環境の改善 ( % )	12.0	(H16年度) →	25.0	(H20年度)
			( )		( 年度) →		( 年度)

